

## 第6回 小平市公共施設マネジメント推進委員会

日 時 令和2年10月30日 午前10時00分～正午

場 所 WEB会議 (ZOOM)

出席者 推進委員 6人 (欠席1人)

出席課 12人 (行政経営担当部長、公共施設マネジメント課長、公共施設マネジメント課長補佐2名、公共施設マネジメント課係長、市民協働・男女参画推進課長補佐、子育て支援課長、教育総務課長、教育総務課長補佐、学務課長、中央公民館長、中央図書館長)

傍聴者 1人

### 1 開会

### 2 小川駅西口公共床の基本設計レイアウトについて(報告)

**資料1①、資料1②、資料1③の概要を説明した。**

質疑

**A委員**：市民意見の数も多く、反映されていると思う。委員へは今後に向けた意見等あったら伺いたい。

**E委員**：全体の感想は、A委員と同じ。ティーンズコーナーの座席数を増やしたこと、事務室の壁を書架に変更し、ティーンズコーナーの見通しを確保したことはよかった。ティーンズコーナーの運営について、市としてどう考えているか伺いたい。例えば、武蔵野プレイスのようにティーンズしか入れない等、想定はあるか。

**中央図書館長**：従来の図書館にもティーンズコーナーはあるが、座席があるのみである。小川駅西口公共床の新しいティーンズコーナーでは、滞在してもらい、学習に供する場としてティーンズが使いやすいものとした。

**E委員**：名称だけではなく、ソフトの連携で考えるとよい。広くみんなが使えるとよい。

**F委員**：全体的には市民の意見が反映されており、よいレイアウトになったと思う。以下の3点を確認したい。①吹抜け階段に係るスペースの有効活用について、吹抜けを造ることは決定か。②ティーンズコーナーについて、駅に接するビルであり人が多く集まるため、安全確認をしっかりとしてほしい。③男女共同参画センターひらくに専用の相談室を設置する考えはないのか。

**公共施設マネジメント課長補佐**：1点目の吹抜けについて、市民意見の中では吹抜けがあった方がよい、無い方がスペースの有効活用ができると両方の意見があった。ビルの構造上、天井があまり高くないため、圧迫感を取り除き空間を広く見せるよう、また、公共床の特徴的な造りとして、引き続き吹抜けは設置する。

**公共施設マネジメント課長**：2点目のティーンズコーナーの安全確認について、事務室との間の書架は高くなく、立つとティーンズコーナーを見渡すことができる。空間は壁で区切られることなく一体的となっており、安全には十分に配慮する。

**市民協働・男女参画推進課長補佐**：3点目のひらく専用相談室の設置について、専用の部屋を設置することは考えていないが、相談者のプライバシーに配慮し、パーテーション等を設けて人目に触れないよう、運用面で協議していく。

**公共施設マネジメント課長**：また、人目に触れない配慮として、壁に囲われた多目的室Gを利用してもらうことを想定している。

**F委員**：フリースペースではゆったりと本を読めるという認識でよいか。また、マガジアカフェは引き続き設置する考えか。本が汚れてしまうおそれや、飲食物の臭いが5階へ上がることが考えられる。1階から3階の商業スペースにカフェが入るのであれば、自動販売機程度でもよいのではないか。

**公共施設マネジメント課長**：フリースペースではゆったりと本を読めるという認識でよい。1階から3階の商業スペースにどのような店舗が入るのかはまだ決まっていないが、店舗に関わらず、マガジアカフェは設置していく方向である。

**A委員**：商業スペースのテナントはいつごろ決まるのか。

**公共施設マネジメント課長**：テナントはその時々々の社会・経済情勢等に影響を受けるため、一般的にはオープンに近い時期に決まると聞く。

**中央図書館長**：マガジアカフェ等における本の汚れについては、多少は汚れる可能性はあるが、そのことを差し引いても、本に親しみを持ってもらいたい。また、臭いについては、類似施設において、それほど問題となっている事例はない。

**E委員**：一般的な図書館とマガジアカフェや飲食可能な図書館を比較したデータによると、後者の方が逆に気を付けるようになるため、本の汚れが減るという報告がある。カフェの匂い・香りについては、空調でコントロールすることを意図しているかもしれない。そういった専門的な設計上の調整や意図について、市民にフィードバックできるとなお良いと思う。

### 3 令和2年度 更新等の適否の判断の検討状況について

**資料2の概要を説明した。**

質疑

**A委員**：議論を収斂するため、最初に十二小、次に十三小、最後に一中・二中・十三小学童クラブに分けて話を進めていく。最初に十二小について、参考資料3の「学校の「更新等の適否の判断」の一般原則に係る補足資料」における判断要素を比較すると更新しないこととなるが、劣化診断の結果は良好ではなかった。必要な保全を行う上で、どの点の劣化が進み、どのような予防保全を行うのか。

**教育総務課長**：経年劣化によりコンクリートの中性化が進んでいるため、中性化を抑制するための保全を行う。例えば、クラック部分から水が入らないよう、屋上防水や外壁等の改修を行う想定である。

**E委員**：参考資料3における一般原則の判断要素、4「将来的な統合の可能性」でそれぞれ低い場合と高い場合に分かれて記載されているが、公表されていない、市が考えていることについて、この点を聞かれた場合にどう答えるのが、重要になる。

**教育総務課長：**学校全体を整理したものがあれば分かりやすいが、まだ検討過程である。資料2の7ページにあるとおり、十二小は上宿小との直線距離が約200mと近接している。また、参考資料1の「市制施行100周年（2062年度）に向けた学校の統合・配置の考え方」は平成30年度に策定し、公表済みであるが、本資料では、学校の将来的な配置を検討する場合のポイントとして、地理的要素を挙げ、他校との距離が互いに近い学校は、将来的に統合の可能性を検討する対象と想定するとしており、十二小と上宿小を初め、具体的な学校名を示している。このことから、十二小は将来的な統合の可能性が高いと考えている。

**E委員：**なるべく早い段階で具体的な議論を進めた方がよい。

**B委員：**西部地域はまだ農地が多く残り、開発の可能性が高く、子どもの数や世帯数が増加する可能性が高い。公共施設も多い。西部地域の計画と合わせて考える必要があり、今から研究をした方がよい。

**A委員：**府中市、八王子市、川崎市で委員を務めている。首都圏の特徴として、地域で違いはあるものの、市全体では人口減少の傾向にあるが、小学校区によっては児童数が増加傾向にあるところもある。住民から理解を得ることや、通学路の安全確保等、併せて説明していく必要がある。

**D委員：**十三小は、十三小学童クラブと合わせて考えた方がよい。資料の構成について、十三小の次に十三小学童クラブを記載した方が、1セットで議論ができ、分かりやすい。また、十三小の更新等の適否の判断の文章で、「劣化診断の結果として、中性化の進行度は健全な状態を保っている状況ですが、児童数の減少が見込まれること～」とあるが、逆接ではなく「健全な状態を保っているものの」のように順接にしないと、前後の繋がりが分かりづらい。参考資料3を参考にしながら読まないで、文章が流れない。

**公共施設マネジメント課長：**資料について、修正を行い、分かりやすい工夫をする。

**A委員：**本資料においては、各施設の更新等を行うか行わないかの議論であり、更新等を行うとした施設の複合化については、次のステップで考えるという認識でよいか。

**公共施設マネジメント課長：**そのとおりの認識でよい。

**A委員：**参考資料3では、一般原則の判断要素が5つ並んでいるが、市としては、4の「将来的な統合の可能性」と、5の「児童・生徒数が減少する時期」のウェイトが大きいのか。

**公共施設マネジメント課長：**そのとおりである。2062年までに小学校19校、中学校8校を更新するためには、2年に1校ずつ更新していく必要があり、後の影響を考えると、4の「将来的な統合の可能性」と、5の「児童・生徒数が減少する時期」において、更新する判断となった十三小については、更新を行う考えである。

**B委員：**十三小の校舎と体育館は一体的に更新を行うのか。また、十三小学童クラブ第一・第二についてはどうか。十三小学童クラブ第二は体育館に併設されているが、これも一体的に更新するのか。

**公共施設マネジメント課長：**校舎と体育館は目標耐用年数到来年に近いことから、併せて更新を行う。また、学童クラブについても、併せて一体的に更新する。

**子育て支援課長：**十三小学童クラブ第一は鉄骨造で単独に設置されており、十三小学童クラブ第二は体育館内に設置されている。それぞれ別々に更新の判断を行うが、一体的に更新する。

**B委員：**資料が分かりづらいので、修正した方がよい。

**公共施設マネジメント課長**：承知した。

**A委員**：今後も、学校の更新等の適否の判断を行う際には、参考資料3にある一般原則の判断要素に明確にあてはめ判断していく。今後、新規の判断要素の項目を作った方がよいという意見もあり得るので、そのことも含めて、議論していければよい。

#### 4 小平第十一小学校へ複合化する施設の方向性について

**資料3の概要を説明した。**

**A委員**：地域センターや公民館は、年間の開館日数が多く、且つ、22時まで利用ができ、開館期間や開館時間が小学校とは異なる。運営方法、安全性が保たれた動線確保、効率性の点でイメージを持っていければ伺いたい。

**公共施設マネジメント課長**：小学校は教育施設であり、地域センターや公民館とは開館時間や活動内容は異なるが、新しい地域コミュニティ施設を複合化して、小学校を地域の核とした地域コミュニティの醸成を図るためには、ある程度の重なり合う部分が必要と考えている。この重なり合う部分を大切に、小学校を拠点化していきたい。

**B委員**：学童クラブをどう位置付けていくのか、今後問われる。児童1人あたりの必要面積もある。学童クラブの利用は増加していく傾向にあり、単純に子どもの数が減るからクラブ数も減らすという考えではない。また、今般のような新型コロナウイルス感染症等の非常事態の発生も想定される。他市の事例では、複合化している学童クラブは、実態として施設の利用を制限されており、不評である。利用実態を考慮して、複合化を進めてほしい。学童クラブの位置づけについて、どのような話し合いを進めていくか考えがあるのか。

**子育て支援課長**：市では、学童クラブは公立小学校の敷地内に設置することを特色としている。学校の敷地内にあることで、体育館の利用や避難所としての利用、放課後子ども教室とも連携ができ、保護者からも評価を得ている。また、児童1人あたり1.65㎡については、必要に応じて、学校の多目的室やランチルーム等、学校の部屋を利用している。

**C委員**：市民アンケートの結果によると、地域センターと公民館の利用者は少ない。地域コミュニティの拠点とするために、どのように進めていくのか。

**公共施設マネジメント課長**：現在の公民館活動にとどまらず、例えば、身に付けた知識や技術等を見学へ教える、伝える等して地域へ還元できるような取組としていきたい。これらの取組を通して、施設の魅力を高め、発展できるように進めたい。

**D委員**：今後のスケジュールでは、ワークショップ等、市民の意見を聞くプロセスについても書き加えた方がよい。

**公共施設マネジメント課長**：今般の新型コロナウイルス感染症の拡大・対策の影響から、やや見通しがつきにくく、現時点で確定している説明会について記載している。取組の中では、利用者・利用団体ヒアリングの実施等、適宜、市民の意見を伺いながら進めていく。

**A委員**：高齢者館（さわやか館）と高齢者デイサービスセンターが複合化の対象とならない実質的な理由はなにか。

**公共施設マネジメント課長**：都営住宅内に設置されており、事務レベルでハードルが高いことが

ある。また、複合化する施設の方向性と並行して検討していた事項として、高齢者デイサービスセンターは指定管理者制度を導入しており、指定管理期間が今年度末で終了となるため更新が必要であるが、指定管理者としてのなり手がいないこと、また、施設の設置当時は、行政が高齢者デイサービスを担う必要があったが、現在は民間事業者が増えたことにより、市の役割を終えたと考え、令和2年度末をもって廃止することが決まった。

**A委員**：公民館や地域センターにおいて、放課後の児童の居場所になっている所はあるか。

**子育て支援課長**：児童の預かりではなく、居場所として、児童館や地域センターでの子ども広場の事業がある。

**中央公民館長**：平日ではないが、公民館では土曜日子ども広場の事業を実施しており、ものづくりやゲーム等をして、子どもの居場所づくりを行っている。今後も継続して実施していきたい。

**市民協働・男女参画推進課長補佐**：地域センターのロビーでは放課後に児童が集まり、遊んでいる。

**A委員**：公民館、地域センター、学童クラブでオーバーラップしている所があれば、学童クラブで吸収するという考えもある。

**D委員**：子どもの人口が減少しても、共働きは増えており、学童クラブに対するニーズは引き続きあるため、実体を捉えて取組を進めてほしい。また、花小金井北公民館、中央図書館花小金井北分室、花小金井保育園の複合施設は、今後どのようになるのか、現時点で分かることがあれば伺いたい。

**公共施設マネジメント課長**：学童クラブについては市も同様の認識をしており、実体を踏まえて検討を進める。花小金井北公民館等の複合施設は、機能が全て無くなり、老朽化も進んでいることから、解体して売却することで、今後の施設の更新に係る財源に充てたいと考えている。

**D委員**：民営化した保育園の場所はどこになるのか。所管課がないため、分かる範囲で伺いたい。

**公共施設マネジメント課長**：花小金井地区は南側に保育園の需要があるようだが、公募により決まると聞いている。

**D委員**：現在の花小金井保育園がある場所から、立地が変わる可能性があるということか。

**公共施設マネジメント課長**：そうである。

## 5 その他

**C委員**：次回は、学校を中心とした1,000m単位の公共施設の配置図があると分かりやすい。

**公共施設マネジメント課長**：承知した。議題にある場合は用意する。

**公共施設マネジメント課長**：次回の公共施設マネジメント推進委員会は令和2年12月22日に開催する予定。

## 6 閉会